



子ども達に「夏休み宿題部屋」を提供 お友だちと“深谷大上ふれあいの家”で勉強しよう！

大上地区社協は、今年度の重点施策に“学校行事、学習支援、ふれあいの家活動等による子どもの育成活動”を掲げており、今回その一環として深谷大上ふれあいの家を「夏休み宿題部屋」として開設します。

この事業は、子ども達が友人と一緒に「深谷大上ふれあいの家」へ来て、自由に勉強できる場所として提供するものです。会場は24席分ですが、予約は不要です。ただ利用する際は保護者に行き先を伝えて頂くことを義務づけています。

開設は、8月の毎週土曜日（1、8、15、22、29日の5回）で、利用時間は午前9時から午後5時までです。会場には冷たい麦茶のみ無料提供します。おやつや昼食は持ち込み自由です。子ども達が安全で安心してのびのびと学習できるよう、社協会員や地域の皆さんには見守りなどでの参加協力をお願いします。



北の台小学校の南に位置する
深谷大上ふれあいの家

31名が参加したウォーキング会を共催

大上走ろう会（松平義一会長）が主催し、大上地区社協と大上地区健康普及委員の共催による“市内福祉施設等学習ウォーキング会”が、6月24日（水）に行なわれた。

この催しは、健康のための単にウォーキングするだけでなく、福祉施設等も見学して学習しようという主旨で行なわれた。当日は風車公園に参加者31名が集まり、午前10時にスタート。始めに寺尾中にある介護付き有料老人ホーム「サンライズ・ヴィラ綾瀬」を見学した後、寺尾本町の「綾瀬消防署北分署」を見学。そして市役所前のレストランで昼食をとり、寺尾南にある地域包括支援センターを有する特別養護老人ホーム「杜の郷」を見学して風車公園へ戻るコースで行なわれた。

参加した婦人は『ただ歩くだけでなく、福祉施設や消防署を見学するという新しい催しに参加して本当に良かった。これからも趣向を凝らしたウォーキング会を企画して頂きたいですね！』と話していました。



北分署で説明を聞く参加者

火曜喫茶店で「健康体操と熱中症対策」の講習会を開催

深谷大上ふれあいの家の火曜喫茶店では、7月7日（火）午前10時から7区の山口三枝子さんを講師に迎えて「健康体操と熱中症対策」をテーマに、熱中症の症状や対策水の作り方、正しい体温や血圧の測り方の講習会を開催しました。

当日は35名が参加して、山口さんから毎日の食生活が大事で、特に朝食をしっかり取る事や、水分はこまめにとる事が大切と言った熱中症対策の話を熱心に聞き、また正しい血圧の測り方などの実技指導を受けていました。

なお、火曜喫茶店のイベントについては、大上地区の自治会掲示板に適宜掲示されますので、ご覧下さい。



山口さんから熱中症対策を聞く